様式１　　平成２６年度　宇陀市立　菟田野中学校　学校自己評価書

教育目標	笑顔あふれる学校をめざして														
運営方針	教職員を適材適所に配置し、組織的に学校運営・学校経営を行うとともに、地域人材の活用を図り学校を活性化させる。														
前年度の成果と課題	・職員の世代交代と学校文化の継承と発展				本年度重点目標	・職員研修（学級集団作り、授業改善、特別支援教育）									
大項目	中項目	小項目	具体的評価項目・指標	取組と成果	生徒アンケート	生徒評価	保護者アンケート	保護者評価	教職員アンケート	教職員評価	小項目の評価	中項目の評価	評価の観点・理由	課題・改善方策
Ⅰ 教育活動に関するもの	(1)教育目標 教育課程 学校評価	① 教育目標の設定					教育目標を知っている。	2	教育目標を知っている。	5		B	・シラバスは作成しているが，有効に利用されていない。 ・授業は，できるだけわかりやすく，理解しやすいように，教師の方では工夫しているが，生徒にはなかなか伝わっていない。 ・評価に関して，生徒にも保護者にも，理解されているとはいえない。	・シラバスの形式や活用について改善し，評価に関する理解にもつなげる。 ・授業のすすめ方や内容について，さらに研修を深める。 ・学習支援の先生との連携なども工夫する。 ・学習内容の定着をはかるための方法や学習がわかりにくい子への対応などを工夫する。 ・生徒の学習の理解度を常にチェックしながら授業を進めていく。
		② 教育計画の作成												
		③ 教育課程の編成												
		④ 教育活動の評価												
	(2)学習指導 ［教科・総合］	① 学習指導計画の立案	生徒の実態に沿った目標の設定と新指導要領に基づくシラバスの作成に取り組む。	シラバスを作成する。			シラバス（学習の仕方、評価の仕方など）を活用している。	2			C			
		② 学習内容の精選												
		③ 指導方法の工夫改善	学習規律を整える。	学習に向かう態度を整える。	持って帰らなければならない教科書等は、きちんと持って帰っていますか。	5			授業開始時には、学習に臨む準備や態度を整わせてから授業を行っている。	4	A			
					チャイム着席はできていますか。	3〇								
				「聞くところ」「書くところ」の指示を徹底する。	授業中、先生が説明しているときは、私語なく集中していますか。	3								
			わかりやすい授業を行う。	できるだけ具体物を使って授業を行う。	授業はわかりやすいですか。	3	授業がわかりやすいと言っていますか。	2	具体物や資料などを使って授業している。	4	B			
				授業研究をする。					授業では、できるだけポイントを整理して指導するようにしている。	5				
									自分にしかできないことや一工夫を継続的に行っている。	4				
				家庭学習をさせる工夫を行う。	家庭での学習をしていますか。	3△	子供は家庭学習をしていると思う。	2	生徒が取り組みやすい提示や具体的な指示をしている。	4				
		④ 評価	生徒の学習状況を的確に評価する。	評価基準を明確にして評価する。	適切に学力や努力が評価されていると感じますか。	3	子供の学力や努力が適切に評価されていますか。	3			B			
	(3)道徳□ 特別活動	① 指導計画の立案												
		② 道徳の時間の充実												
		③ 学級活動・学級経営			学級の一員として、意見を述べたり・行動したりしていますか。	3			学級指導では生徒の自主的・主体的活動を生かすような工夫を行っている。	4				
		④ 学校行事			学校行事に積極的に参加しましたか。	4	子供は学校行事に積極的に参加している。	4	学校行事の内容等の改善を行っている。	4				
		⑤ 児童・生徒会活動の活性化			生徒会、福祉委員会等で積極的に活動しましたか。（委員への協力ができましたか。）	4			生徒が自主的・主体的な活動になるように工夫している。	3〇				
		⑥ クラブ・部活動の活性化			部活動は楽しいですか。	4	子供は部活動を楽しんでいる	5	生徒が意欲を持って活動するように取り組んでいる。	4				
					部活動には意欲を持って取り組めましたか。	4	子供は積極的に部活動に参加している。	5						
	(4)人権教育	① 人権教育指導計画の立案	本校の人権教育における課題を明確にし、指導計画を立てている。	人権教育指導計画を作成する。					人権教育指導計画は本校の実態をふまえたものになっている。	4	A	B	・教育課題を明確にして、計画的に指導する。 ・重点目標に取り組むための指導教材を研究する。 ・公開授業を開き、指導者としての力量を高める。	・研修会議を持ち、指導者相互の力量を高める。 ・校外での研修を校内でも活用していく。 ・重点目標について共通理解を深める。
		② 学習内容の精選	重点指導教材を決め、計画的に取り組んでいる。	重点指導教材をきめ、計画的に実践している。					重点指導教材をきめ、計画的に実践した。	4	A			
		③ 指導方法の工夫改善	生徒の実態にあった題材の選択や心情に訴えかける授業づくりができている。	生徒の実態にあった題材を選択し、工夫した授業を心がける。	あなたは学級の一人として協力し、また仲間からも大切にされてますか。	4	学校は、一人ひとりを大切にする教育に重点をおいていると思いますか。	3△	人権学習の内容・授業の様子などを教師間で交流しながら進めている。	4	A			
									人権教育公開授業研究は授業改善に役立った	4	B			
	(5)食育	① 食育の全体計画の立案												
		② 学習内容の精選												
		③ 指導方法の工夫改善			給食当番の仕事を果たしましたか。	5								
					給食を残さず食べていますか。	5	子どもは好き嫌いをしないで食事をしていますか。	4						
	(6)生徒指導	① 組織的な生徒指導	全教職員が統一した指導・指示を行う。	生徒指導部を中心にしながら、組織的な指導を行う。	あいさつは出来ていますか。	5	学校の決まりを知っていますか。	3	学級・学年間で統一した生徒指導に心がけた。	3	B	B	・制服の着用など一定の成果は表れている。が、学習規律をはじめとする規範意識の低下がうかがえる。 ・SCをはじめ、二者懇談の定期的な活用が必要である。 ・携帯、スマートフォンに関するマナーや利用上の注意に関する講演会を必ず実施していく。	・生徒の思いを受け止めるための相談体制、特に二者懇談の定期的な実施やQ-Uを積極的に活用する。 ・生徒と何気ない会話を大切にしながら、生徒の内面に迫り、またそれを学級経営だけではなく家庭訪問につなげていく。 ・教師間の報告、連絡、相談を今以上に密にし、学校全体で組織的に取り組めるための意思統一を図る。
					制服をきちんと着用していますか。	4	学校の決まりを守らせようとしましたか。	4						
							子供は学校の決まりや交通ルールを守っている。	4						
		② 問題行動の指導	問題行動に関して迅速な対応を行う。	「学校経営案」の生徒指導対応マニュアルに従って取り組みを行う。					問題行動に対して、迅速な対応ができた。	4	B			
		③ 教育相談・児童生徒理解	生徒との関わりを深める。	生徒の様子に配意するとともに、生徒の声に耳を傾け、思いや願いを的確につかむ。	先生は生徒の様子をよく知っていると感じますか。	3△			休み時間や放課後など、生徒と話すことを大切にしている。	5	A			
			不登校生徒をなくす。	不登校生徒の解消に向けて取り組みを行う。										
		④ 家庭との連携	生徒の生活の様子や変化などを的確に家庭に伝える。	電話連絡より家庭訪問を大切にする。			子どもの生活等について、学校に気軽に相談できる。	3						
		⑤ 関係機関との連携	関係機関と連絡を密にして、早期対処・未然防止を図る。	関係機関、4中合同会議を定期的に開く。										
	(7)進路指導 キャリア教育	① 組織的な進路指導												
		② 勤労観・職業観に関する指導			（2年）職場体験学習の内容は充実していましたか。	4								
		③ 指導方法の工夫改善												
		④ 進路相談			（3年）自分の進路や将来について、先生と充分に話し合うことができましたか。	3〇								
		⑤ 家庭との連携					生活等（進路含む）の相談では、教職員は丁寧に対応している。	3〇						
		⑥ 関係機関等との連携												
	(8)特別支援教育	① 組織的な特別支援教育							特別支援が必要な生徒について共通理解ができている。	4				
		② 個別の指導計画の策定												
		③ 個別の教育支援計画の策定												
		④ 指導方法の工夫改善							特別な支援が必要な生徒の実態に応じた教材を工夫している。	4				
		⑤ 家庭との連携												
		⑥ 関係機関との連携												

様式２　　平成２６年度　学校自己評価項目（学校経営）

学校名【菟田野中学校】

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目・指標	取組と成果	生徒アンケート	生徒評価	保護者アンケート	保護者評価	教職員アンケート	教職員評価	小項目の評価	中項目の評価	評価の観点・理由	課題・改善方策
Ⅱ学校経営に関するもの	(1)組織運営	①　校長のリーダーシップ												
		②　学校経営目標・方針							グランドデザインは分かりやすい。	4				
		③　教職員の適正配置と運営への参加意識							校務分掌では自分の役割を果たしている。	4				
		④　校務分掌等の連携												
		⑤　会議の運営												
		⑥　会議の結果												
		⑦　職場の人間関係							日々の教育活動における課題や悩みについて、気軽に話し合えますか。	4				
	(2)研究・研修	①　研修の組織･計画･実施	校内研修が計画的・効果的に行われている。	校内研修を計画的・効果的に行う。							B	B	・２回のＱＵ研修、２回の特支研修を行った。教職員の約７割～１０割が効果的であったと回答している。 ・授業研究については、人権教育公開授業研究が各学年一回ずつ行われたが、教科に関する授業研修は社会科だけであった。	・今後も研修が学級経営や授業改善につながるようテーマの選定、内容の充実に努めていく。 ・特別な支援が必要な生徒の増加に対応するため、授業のＵＤ化を目指した研修等を行っていく。
		②　校内研修	校内研修は教職員の資質を高めるため効果的に行われている。	校内研修は教職員の資質を高めるため効果的に行う。					QU研修は、学級集団づくりや学級集団の評価に役立った。	4	A			
									特別支援教育研修は、日々の授業改善に役立った。	4	A			
		③　授業研究	授業研究は教職員の授業力を向上させるため効果的に行われている。	授業研究は教職員の授業力を向上させるため効果的に行う。							B			
		④　校外の研修への参加												
		⑤　研修成果の普及												
	(3)安全管理	①　危機管理体制の整備												
		②　学校防災計画の立案												
		③　安全指導の工夫改善												
		④　家庭との連携												
		⑤　関係機関との連携												
	(4)保健管理	①　学校保健計画の立案												
		②　心のケアや健康相談体制の整備			心配事や悩みなどを気軽に打ち明けることができますか。	３△			生徒のＳＯＳサインに対して、適切に相談体制をとっていますか。	4				
		③　健康観察、健康管理能力の育成							日々の健康観察・保健指導を、養護教諭と協力して適切に行っていますか。	4				
		④　学校給食の衛生管理												
		⑤　関係機関との連携			（２年）育児体験活動の内容は、良かったですか。	３								
	(5)保護者・地域との連携	①　学校情報の発信	学校情報を保護者や地域に積極的に発信している。	学校便りを毎月発行する。			学校便りや学年便りによって学校の様子がよくわかる。	３〇			B	B	･学校便りや学年便りが保護者に届いていないことが考えられる。 ･学校メールについては約9割が「役立った」と回答している。 ･授業参観の回数については約8割が肯定的回答であった。 ･PTA活動の参加については、約4割しか肯定的回答がなかった。 ･学校評議員会は2回の開催であったが、学校行事等の機会に案内し生徒の様子を見ていただく機会とした。	･学校便り、学年便りの紙面、内容とも、見やすく分かりやすいものとしていく。 ･学校メールへの加入をさらに勧め、プリント案内をするものについてはメール配信するという姿勢で臨む。 ･菟田野地区全体へ配信すべきものは、今後も市広報誌を活用し全戸配布に努める。 ･PTA活動への積極的参加を促す。
				緊急メールを活用する。			行事等について学校からの配信メールが役立った。	5			A			
		②　学校(授業)公開	学校(授業）公開を適切に行う。	学校(授業）公開の回数や方法を保護者アンケートの結果により見直す。			授業参観の回数（５月、１１月、１月）は適切である。	4			A			
		③　家庭・地域との連携												
		④　ＰＴＡの活性化	PTA活動が学校に協力的であり、活発に行われている。	PTA活動が主体的な活動となるよう支援する。			PTA活動に積極的に参加している。	2			C			
		⑤　校種間連携												
		⑥　学校評議員の活用	学校評議員会を定期的に開催する。	学校評議員会を適切に開催する。							A			
		⑦　学校安全会議の活用												
	(6)教育環境整備	①　教育環境の整備	教育環境が適切に整備されている。	生徒が落ち着いて学習できるよう日々環境整備を行う。	掃除時間は時間いっぱい熱心にしている。	3			清掃（給食当番）時は率先して掃除活動を行っている。	5	B	B	・教育環境の整備について、教職員の意識と生徒の意識に乖離が見られる。 ・教材教具の整備では、活用については約８割が「活用している」と回答している。しかし、点検整備については、約５割しか行っていない。	・日常美化活動の点検を行うとともに、福祉委員会を活性化させ生徒自らの力で「ものを大切にする心」や「当たり前のことが当たり前にできる」規範意識を醸成する必要がある。 ・備品台帳管理は職員の責務であり、完全実施が基本である。教職員自身がきっちりと備品管理を行い生徒に範を示していく。
					学校ではゴミをしないように心がけている。	3			毎日生徒が下校した後や退室した後、教室環境を点検整備してい	4				
									修理が必要なものを見かけたときには、自ら修理したり管理職に告げたりしている。	4				
		②　施設設備の有効利用												
		③　教材教具の整備	教材教具を有効に活用している。	教材教具を有効に活用する。					教材備品を授業等で有効に活用している。	4	A			
			教材教具を常に整備する。	備品管理台帳に基づき点検管理を行う。					備品台帳に基づき教材備品等の点検整備を行った。	３〇	B			
		④　施設設備・教材教具の管理												
	(7)情報管理	①　公文書の収受・保管							公文書は案件が済みしだい、決められたファイルに保管している。	4				
		②　公文書の作成							文書の作成については複数人で確認し、管理職の最終チェックを受けている。	4				
		③　個人情報の管理・保護												
									個人情報の持ち出しはしていない。	5				
		④　情報の収集												

様式３　　平成２６年度　学校関係者評価書

学校名	宇陀市立菟田野中学校
評価者名	中尾輝子（学校評議員）、葛城芳樹（学校評議員）、峯畑忠郎（学校評議員）
実施日	平成27年2月25日

大項目	中項目	達成状況・取組状況について		取組の適切さについて	改善方策について
Ⅰ教育活動に関するもの	教育目標・教育課程・学校評価		①学習指導について ・先生方と生徒・保護者の意識にずれがある。 ・学習規律が着いてない点を危惧する。「駄目なものはダメ」と保護者にもはっきりと伝え、学習に向かう姿勢を正して欲しい。 ・学習も大切だが、部活動や学校行事にしっかりと取り組めているのだから、それら良いところをテコにして学習につなげて欲しい。 ②人権教育について ・着実に取り組めているようだ。 ③生徒指導について ・メール等を活用して、学校からの連絡が確実に家庭に届くようにして欲しい。 ・生徒・保護者の思いに寄り添い、その思いや願いをしっかりと捉えて欲しい。特に、弱い立場の保護者・子どもたちの声を聞く姿勢を大切にしていって欲しい。	①学習指導について ・意識のずれについては若干は仕方ないであろうが、基礎基本の定着は命題である。旧来の指導方法では子どもはついてこないと思う。	①学習指導について ・授業の焦点化・視覚化・具体化が大切である。是非取り組みを進めて欲しい。それが生徒指導へと好循環していくと思う。 ・補習などの工夫をしていただき、部活動に向かう姿勢を学習にも向かわせて、学習面でも成果を出して欲しい。 ・生徒に家庭学習の重要性を伝え、学習の定着を図るような取り組みを重点的に行ってほしい。。 ③生徒指導について ・菟田野中学校の強みとして、先生方が諦めずに家庭訪問する姿勢がある。トラブルの場合だけではなく「子どもが輝いている姿」を『土産』として持っていける先生方であって欲しい。
	学習指導［教科・総合］	B			
	道徳　特別活動				
	人権教育	B			
	食育				
	生徒指導	B			
	進路指導・キャリア教育				
	特別支援教育				
Ⅱ学校経営に関するもの	組織運営		①研究研修について ・特支研修、ＱＵ研修、人権教育研修は行われているが、教科授業研究が行われていない。 ②保護者・地域との連携について ・保護者に便り等が届いていない状況が考えられる。メール加入をより積極的に勧め、紙媒体で配布するものについては必ずメール配信する姿勢で臨むことが大切だ。 ・ＰＴＡ活動への積極的な参加が望まれる。 ③教育環境整備 ・子どもたちの意識と先生方の意識との乖離が気になる。 ・備品台帳整理は、公共物・税金という気持ちで確実に行って欲しい。	・挨拶はよく行ってくれている。 ・文化部もよくやってくれていると、学校への見方が変化している。 ・全体的に地域での風評は良い。	①研究研修について ・授業のＵＤ化についての研修を是非進めて欲しい。 ②保護者・地域との連携について ・メールへの加入促進を行っていただき、上表が確実に保護者のもとに届くようにして欲しい。 ③教育環境整備 ・「環境が人を創る」と言う言葉がある。人が１番の環境であることは言うまでもないが、システムや目に見える形での変化も大切だ。教育行政にも協力していただき、その面でも更に改善を進めて欲しい。
	研究・研修	B			
	安全管理				
	保健管理				
	保護者・地域との連携	B			
	教育環境整備	B			
	情報管理				

【その他学校に対する意見】

・菟田野地域にある独特の「学習に対する甘さ」を払拭するのは、先生方の日々の取組であると思う。ご苦労をかけるが持続継続的で息の長い取組をお願いしたい。